

平成 2 8 年 度 事 業 報 告

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 海 原 会

平成28年度事業報告書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

海原会は、その前身である「豫科練の碑保存顕彰会」が昭和42年5月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和54年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も千名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっていることは遺憾ながら否めない現実であります。28年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の活動に従事するかたわら、会員の募集にも力を入れて参りましたが、退会者数を補うまでにはその成果が得られておりません。

次年度以降、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、平成28年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」における「豫科練戦没者慰霊祭」であります。平成28年度は若葉薫る5月に実施いたしました。青葉若葉の初夏の香りを感じさせる快晴のもと約400名の同窓生及びご来賓の皆様が、日本全国からご参列頂き、厳粛かつ和やかな慰霊祭を挙行することができました。特に、28年度はご遺族代表として乙飛第6期故佐々木孝 海軍飛行兵曹長の甥猪股武俊様に出席をいただくとともに、陸上自衛隊武器学校及び陸上自衛隊施設学校音楽隊の支援に加えて、海上自衛隊下総教育航空群隊員による儀仗隊の支援をいただく等、盛大に挙行することが出来ました。

また、「豫科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭にも、海原会役員を出席させる等本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進しました。その主要なものは以下に記述するとおりであります。

1 慰霊事業

(1) 第49回豫科練戦没者慰霊祭

ア 日 時 平成28年5月29日(日) 午前10時30分

イ 場 所 陸上自衛隊武器学校内 「雄 翔 園」

ウ 実施内容

(ア) 前夜懇親会

今年度は、前泊された同窓生及びご遺族を中心として土浦市内のレストランにおいて前夜懇親会を開催しました。

これは、前年度の慰霊祭において出された「できるだけ多くの皆さんとお話したい」とのご遺族の皆さんの要望を実現化したもので、大変有意義な時間を過ごすことが出来たとの高い評価を頂戴しました。

来年は、規模を拡大してより多くの皆さんが参加できる前夜祭を開催したいと思います。

(イ) 慰霊式典

a 式典開始に先立ち、海上自衛隊下総教育航空群所属のP3C1機、及び日の丸飛行隊所属セスナ2機による慰霊飛行が実施されました。

b 実行委員長 酒井副理事長の開式の辞に引き続き、国歌吹奏・黙祷・献火・高松宮妃殿下御歌奉詠・式辞・遺稿朗読・献花・来賓挨拶ご遺族の言葉と続き参加者全員で若鷲の歌を合唱して無事式典を終了しました。

c 黙祷において、空母赤城の信号用に使用されていた喇叭を海上自衛隊下総基地隊員に吹奏していただきました。

(ウ) 雄翔館及び予科練平和記念館の見学

式典終了後、直会開始までに約1時間の間隙を設け雄翔館の見学を参加者の皆さんに行って頂きました。

(エ) 直 会

慰霊式典に引き続き、約300名のご遺族並びにご来賓の皆様をお招きして、直会を実施しました。直会は、阿見町議会議長 紙井和美様のご挨拶に引き続き、予科練雄飛会会長小林和夫様の献杯ご発声により開始され武器学校所属の常陸陣太鼓の慰霊演奏など、会員相互に懇親の実をあげて終了しました。

(2) 全国各地で举行された慰霊祭への参加

平成28年 4月 2日 陸上自衛隊武器学校観桜会

酒井副理事長、助村事務局長、徳永理事が参加

3日 浜空鎮魂祭 於：浜空神社

助村事務局長が参加

4日 予科練雄飛会慰霊祭 於：靖国神社

酒井副理事長、助村事務局長、平野理事が参加

- 10日 甲飛会の絆を守る集い慰霊祭（靖国神社）
津島評議員、助村理事が参加
- 6月26日 第44回静岡空襲日米合同慰霊祭
於：静岡市内賤機山山頂
菅野副理事長が主催、平野理事が参加
- 7月9日 大東亜戦争全戦没者慰霊祭 於：靖国神社
酒井副理事長、助村事務局長、平野理事が参加
- 9月22日 第65回特攻平和観音年次法要
於：世田谷観音寺内特攻観音堂
助村事務局長が出席
- 25日 零戦の会慰霊祭・総会 於靖国神社
酒井副理事長、菅野副理事長、助村事務局長、津島
評議員が参加
- 9月23日 特攻平和観音年次法要 於世田谷観音寺
塚理事長・助村事務局長、津島、岩館、渡辺、
が参加
- 10月28日 海上自衛隊下総基地開設57周年式典
於：下総航空基地
酒井副理事長、平野理事、行方参与が参加
- 11月19日 陸上自衛隊土浦駐屯地開設64周年記念式典
於：土浦駐屯地
酒井副理事長、助村事務局長、徳永理事、津島評
議員が参加
- 12月4日～8日 米国真珠湾攻撃75周年記念式典参加
菅野副理事長及び平野理事が参加

2 顕彰事業

（1）遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を着実に推進しています。28年度は、前年度未整理となっていたご遺族から提供いただいた多くの資料を整理保管いたしました。

イ 雄翔館展示の戦没者紹介パネル及び遺品等の展示の見直しを実施しました。今年度は更に展示要領の充実を推進しました。特に、戦没者紹介パネルの展示位置の修正をおこない乱反射による見づらさを解消しました。

また、館内の展示を、4つのカテゴリーに区分して来館者が短時間で予科練戦没者のことを理解できるような展示としました。

ウ 戦没者紹介パネルハードコピーを展示しました。

これまで、館内に備え付けられてモニターでしか閲覧ができなかった戦没者紹介パネルを、パソコン操作が不得手な高齢者にも閲覧が可能なように、ハードコピーで「予科練戦没者の記録」（3分冊）を作成し展示しました。

エ 雄翔館入口周辺のレイアウトの見直しに着手しました。

29年度末までに完成の予定です。

(2) 遺族支援調査

ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓蒙と当会への入会の促進を図ってきました。

(3) 海上自衛隊への協力

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

ア 航空学生の入隊式に参列

酒井副理事長が、4月3日に行われた第68期航空学生の入隊式に参列しました。

イ 海上自衛隊航空学生の雄翔館研修支援

6月及び7月の計2回にわたり海上自衛隊航空学生約70名の皆さんが行った予科練平和記念館と雄翔館の研修を支援しました。

ウ 予科練同窓生の小月基地訪問

8月、予科練同窓生4名が海上自衛隊小月基地を訪問し入校中の航空学生に対して予科練における訓練の状況や、パイロットとしての心構え等について教育を行いました。

II 定期刊行物発行业

機関誌月刊「豫科練」は、発刊以来438号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様にご喜ばれるような内容の充実を力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実を図っていきたいと思います。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげることができました。

1 編集会議

計画どおり、年間6回の編集会議を海原会事務局会議室で行いました。

現編集委員の高齢化に伴い、今年度から新たにOB2名を編集委員に指名して後継者の育成を図りました。

2 機関誌の発行

計画どおり、第433号から第439号までの6回の機関紙の発行を行いました。

III 青少年育成支援事業

青少年育成のため、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図ったうえ支援を行うように努めましたが、今年度は特に新しい支援候補団体の推薦はありませんでした。また、例年実施しておりました雄翔園所在地元の阿見町が主宰する球技大会は、本年度に限り中止しましたので助成は行いませんでした。

IV 庶務事項

(1) 理事会開催

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、計画どおり実施しました。

平成28年4月14日、5月19日、6月9日、7月15日、8月25日、
9月15日、10月21日、11月17日、12月16日

平成28年1月17日、2月17日、3月16日

(2) 編集会議

機関誌月刊「豫科練」の編集会議を海原会事務局会議室において実施しました。

(3) 平成27年度評議員会開催

平成27年6月9日 於霞ヶ関ビル東海大学交友会館において、平成27年度事業報告・収支決算報告・会計報告及び平成28年度事業計画・収支予算案の審議を行い、賛成多数で可決されました。

(4) 会計監査

平成29年4月20日 海原会会議室において、平成29年度の評議員会の開催に先立ち、平成28年度の経費執行状況について監事2名による監査を実施し、平成28年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。